



豊里

カフェサロンで地域内交流を

「下町地区交流カフェサロン」は5月28日、下町集会所で開かれ、参加者70人が交流を深めました。カフェサロンは、下町町内会と同老人クラブが東日本大震災で被災し、同町内会に移住した人たちとの交流を目的に実施。アトラクションでは、音楽セラピストの藤原澄さんら3人が登場し、懐かしい童謡、唱歌などを演奏しました。参加者は歌を口ずさみ、音楽体操で気持ち良く体を動かし、身も心も癒やされました。

今季の活躍を心に誓う結団式

「登米市スポーツ少年団米山支部結団式」は4月24日、米山体育館を会場に開かれ、12団体、約200人が参加しました。結団式は、単位団の活動内容、今年の目標を紹介。中館支部長は「昨年以上の活躍を期待しています」と激励しました。団員を代表して、錬友会柔道の高橋駿太郎さんが、「目標達成できるよう努力します」と誓いの言葉を述べ、参加者らは、今季の活躍を誓いました。



米山



石越

市民体育祭で深まる地域の絆

「第13回石越地区市民体育祭」は5月28日、石越総合運動公園で開かれ、約2400人の参加者が、運動を通じて交流を深めました。市民体育祭は、3歳以上の未就学児の「かけっこ」や玉入れ競技「大空へアタック」など、大人から子どもまで全員が楽しめる競技を7種目実施。参加者全員での石越音頭、石越小5、6年の鳥舞も披露され、みんなで体育祭を楽しみました。

運動会を通じて親睦を深める

「南方ふれあい運動会」は5月28日、南方中央運動広場で開かれ、約1500人の参加者が、さわやかな汗を流しました。運動会は「たる転がしリレー」や「年代別長靴リレー」など、ユニークなものや誰もが楽しめる5種目を設定。全行政区が全種目に参加し、笑顔あふれる楽しい運動会となりました。終了後は各地区集会所で慰労会があり、地域内の親睦を深めました。



南方



津山

子どもの成長を願い稚児行列

横山不動尊は、12年に1度の秘仏ご開帳記念の稚児行列を4月29日、横山地区で開催し、3～8歳児約40人が参加し、無病息災を祈願しました。同日は、きれいに化粧した子どもたちが、平安衣装をまとい、町中を行列。保護者らと一緒に、津山公民館から横山不動尊山門までの区間をゆっくり練り歩きました。沿道には多くの見物客が集まり、かわいらしい子どもたちの姿を温かいまなざしで見つめていました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

地域一体となり子どもを育む

「北方子ども待機スペース事業開校式」は5月12日、北方小で開かれ、北方小児童と地域住民が、放課後の過ごし方を確認しました。この事業は、低学年児童の下校時の安全確保と、地域との交流を通して子どもたちを健やかに育むことが目的。地域ボランティアが、高学年児童の下校時間まで空き教室を利用し、低学年児童に昔遊びや創作活動の指導をします。児童らは、新しい放課後の過ごし方を楽しみにしていました。

交通死亡事故ゼロ7500日達成

「交通死亡事故抑止功労表彰式」は5月23日、市役所中田庁舎で開かれ、市交通安全対策協議会と登米警察署から日根牛コミュニティ推進協議会（金田義晴会長）へ褒状が贈られました。同地区は1996年10月から交通死亡事故ゼロを継続しており、5月14日に7500日を達成。金田会長は「今後もさらに交通安全運動に取り組み8千日と積み上げていきたい」と決意を新たにしました。



登米



東和

インターハイに向け準備着々

「第18回みやぎ弓の里A1カップアーチェリー大会」は、5月3、4の両日、利府町のひとめぼれスタジアム宮城で開かれ、176人の選手が熱戦を繰り広げました。同大会は、これまで東和総合運動公園で開催していましたが、今年は8月に開かれる南東北インターハイリハーサル大会として実施。選手たちは、今までにない大きな会場で練習の成果を発揮し、参加した役員もインターハイを意識した、スムーズな競技運営を心掛けていました。

ふるさとの思い出を懐かしむ

「東京中田会総会」（小峯喜八会長）は5月20日、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で開かれ、会員56人が出席し、旧交を温めました。総会には、本市から市議会議員や関係者が出席。懇親会では、キュウリをはじめ、仙台牛や大泉ポークなど中田町産の食材を使った料理がテーブルに並びました。参加者は、ふるさとの食材を楽しみながら、懐かしい思い出や近況を語り合いました。



中田